

学校 教育 目標	心るさと寺尾の教育目標【学ぶ子、育つ子、てらおの子】 (学) 探そう知ろう てらおの子 「よく遊び、よく学ぶ」子を育てる (心) みんな大切 てらおの子 心、体、命を大切にし、自他ともに尊重する子を育てる (寺) 寺尾大好き てらおの子 まちの人と関わり 学校や地域を愛する子を育てる				
	創立 69 周年 児童生徒数: 638 人	学校長 正木 久美	副校長 長島 真弓	2 学期制	一般学級: 19 個別支援学級: 5
学校 概要	主な関係校: 生麦中学校、寺尾中学校、錦台中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	○○中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<協働して課題解決する力> <言語能力> <自分づくりに関する力>	生麦中学校 岸谷小学校 生麦小学校	○学習や生活の良い習慣を身に付け、自分の力を伸ばそうと努力する子ども ○「まち」と関わり合いながら学び、「まち」を大切に作る子ども ○児童や生徒が主体的に取組む授業実践の推進。 ○「岸谷祭」「旧東海道祭」など「まち」で開催される行事への児童生徒参画機会の設定。 ○中学校ブロック内小学校を招く「文化・スポーツ交流会」(生麦カップ)の実施。 ○小中合同授業研修会(道徳)と小中一貫教育推進会議の実施。

中期 取組 目標	①子どもの可能性を広げます…教育課程(カリキュラム)の再編 開かれた教育課程・心るさと寺尾の教材 ②魅力ある学校をつくります…社会とつながる学校・学校と家庭や地域との情報共有 研修の充実 ③豊かな教育環境を整えます…安心して学べる学校 トリムコース・心るさと資料室・学校図書館 ④社会全体で子どもを育みます…てらび育て隊・企業や地域との連携・地域交流室・PTA活動の働き方改革 てらび育て隊サポーターズ・授業支援研修会等・係の負担感軽減
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> 確かな学力	①校内授業交流会の教科を生活・総合を柱に据え、課題解決のプロセスや学びの連続性を意識した授業を目指す。そのために、年度当初に子どもの実態と付けたい力の共通理解を図ったり、研修の機会を作ったりしていきたい。②授業交流会を通して、授業改善と授業力向上を図るために、交流会のテーマや指導事項と関連させながら授業を見るとき視点を示す。
担当 学びづくり部会	
<b>徳</b> 豊かな心	①YPなどに年間を通して取り組み、自他ともに尊重する心を育む。②子どもが安心して生活することができる居場所としての学級づくり、学年づくりを目指し、職員研修にに取り組む。③情報を共有し、全職員で子ども達を見守る体制を作る。④異学年交流や集いを状況の変化に応じて工夫し、異学年同士のつながりを築く。
担当 生活づくり部会	
<b>体</b> 健やかな体	①さらなる体力向上のために、スポーツ委員会等と協力して、主体的に楽しみながらスポーツに親しむことができるような取り組みをしていく。持久性、敏捷性を高めるための取り組みや、教員の「体育授業の指導力向上」を目的とした研究・研修に力を入れていく。②安全に運動ができるように、教材や環境を整備していく。
担当 体育部	
<b>公開</b> 地域連携	①引き続き、地域コーディネータとの連携を深め、授業や行事へのボランティア活用を推し進める。 ②行事や授業づくりを行う上で、地域の力を活用した学習の進め方について模索していく。
担当 防災・環境づくり部会	
いじめへの対応	①いじめ防止基本方針を職員で共有し、未然防止のための学級風土作り等の意識を高める。②いじめ防止対策委員会を定期的に実施し、認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努める。③実態に応じたいじめ防止研修を実施し、全教職員のいじめに対するアンテナを高くするとともに、YPを含めた児童アンケートにより些細な変化を見逃さない体制づくりをする。
担当 生活づくり部会	
人材育成・ 組織運営(働き方)	①メンター研では若手のみならず多くの職員の研鑽の場として、日々の指導に役立つ研修となるようにする。 ②組織運営では引き続き、主幹をもとに各主任を中心に運営を進め、自治的な組織作りを目指す。
担当 教務	
個別支援・特別支援教育・ 国際教室	①キラキラルームでの指導内容は学習の習熟とともにそれぞれの子どもの自己肯定感にアプローチするようにしていく。国際教室では、一人ひとりの実態に合わせた日本語指導・学習支援・子どものアイデンティティの尊重を行い、安心して学校生活を送れるように支援していく。②一般級における特別支援教育や国際教室の共通理解をはかる研修を行い、個別最適な学びにつながる実践を学ぶ。③個別の教育支援計画、指導計画の作成、活用のための研修を実施する。
担当 生活づくり部会・他	
安全 (R6より追加)	①月ごとの避難訓練(安全教育)を通して、児童及び職員の安全に対する意識を高める。 ②月ごとの避難訓練(安全教育)を通して、発災時の職員の動きや本部体制のあり方について改善する。
担当 防災・環境づくり部会	
a14	c9
担当	
a15	c10
担当	